

産業振興

問 農業なくして匝瑳市の産業基盤はあり得ないと考
える。農業が再建できなければ、商業も衰退し、雇用の機会が奪われることで若い世代が都市へと流出してしまう。この現状を打破する具体的な施策は。

答 農業従事者の高齢化や後継者不足、消費者ニーズの多様化、農業所得の減少など、日本の農業が抱える課題は深刻であり、本市の基幹産業である農業基盤の強化については、非常に強い危機感を持って臨まなければならぬと認識しています。

そのような状況の中、人
的資源の確保や生
産基盤の強化等を図りながら、市長としてト
ツプセールスで地
域産業と地域経済の活性化を積極的に推進していきます。



▲市内の田植え風景

問 市の産業振興における課題について、社会的環境、経済的環境に起因すると考
います。

答 定年退職を迎えたられた団塊世代が、現役時代に培つた知識や経験、人脈を活かすことで、従来と違った視点から企画、営業支援を行なうことが可能で、キャリアとして市で採用し、商工業者の支援育成に活用してはとの御提案ですが、市としては、現在のところ一般的な求職希望者の中

費者からも大変好評で、全国ブランドとして機会あるごとに積極的に売り込んでいきたいと考えています。

また、植木産業について、銘木100選に選定されている樹木については県内42本中23本が市内にあり、伝統樹芸士としては県内42名が認定されている中で本市の生産者は29名で、造形技術には目を見張るものがあります。

このような環境を十分活かし、名実ともに植木のまち匝瑳の確立を目指して、支援していきたいと考えています。

市では基本構想は12年の期間を設定していますが、より具体的に即応できるよう、基本構想の施策を具現化するための基本計画については、前期、中期、後期としてそれぞれ4年を計画期間と定めています。

今後、前期基本計画の検証を具体的に行い、変化の早い時代に対応できる計画にしたいと考えています。

飯高等学校が廃校となつたが、飯高校廃校舎や飯高寺を含めてオープンガーデンやアグリツーリズムの再構築により、地域繁栄の起爆剤になるのではないかと考
る。そこで多くの経験を積んだ高齢者をキャリアシルバーとして組織化し、活用しては。

問 ふれあいパークについて、開業以来、順調な業績で推移しており、多くの関係者の努力の賜物だと思
うが、経済状況の変化がふれあいパークの業績に影響を及ぼすこともあります。また、同様の施設も多数あることから、良好な業績を保てるような計画が常に必要です。

答 ふれあいパークでは、時間を通じてさまざまないます。

特に本市の主要農産物である水稻については、「匝瑳の舞」が地域ブランドとして確立されつつあります。消



▲ふれあいパーク8周年イベントでもち投げをするソーサマン

このようなか、本市は、首都圏や成田国際空港への好アクセスの立地条件であるという強みがあります。そのような優位性を活か



▲みどり平工業団地

しながら、利便性の高い、雇用の創出が期待できる優良企業の誘致を積極的に推進していきたいと考えています。

問 みどり平工業団地について、以前は操業停止や企業の撤退、縮小などがありと考えています。市として、企業の誘致や事業継続の依頼などいろいろな対応があると思うが、どのように考えるか。

答 現在は長期の不況により、操業している企業数、従業員数が年々減少しているというのが実態のようですが、J.T跡地については、200坪の公共用地が塩漬け状態となっている。何とか有効活用できないものか。日本たばこ産業株式会社から購入した用地であると前市長から引き継いでいます。

ケート調査も実施しましたので、調査結果をこれから事業に反映させていきた
いと考えています。

また、このときにはアンケート調査も実施しましたので、調査結果をこれから事業に反映させていきた
いと考えています。

での人材活用として実施しているところです。

御提案の件については、予算の問題もありますので、貴重な提言として十分検討

ペント等も行われている上、生産者と消費者の触れ合い、人と人との触れ合いを大切にするというふれあいパークの長所は、ほかの

ベント等も行われている上、生産者と消費者の触れ合い、人と人との触れ合いを大切にするというふれあいパークの長所は、ほかの

しながら、利便性の高い、雇用の創出が期待できる優良企業の誘致を積極的に推進していきたいと考えています。